



消費者参加の模擬セリ市

市場祭・農業祭にザット2万人

生鮮食品や野菜、青果物などを豊富に取りそろえて市民の台所に安定した価格で供給している富士市公設地方卸売市場の第2回「市場祭」および、第13回「農業祭」が11月19日（日）午前9時から市内田島の同市場で行われました。

この日、午前8時30分、同市場北

側で渡辺市長、中井富士中央青果株式会社々長の手によって、「モッコク」の記念植樹が行われました。

会場には青果物、水産物、ネリ加工食品など約1,000種類がならべられ、また農業祭の農作物などは正午を期して2ヵ所でいっせいに消費者（市民）参加の模擬セリ市が行われ

どの品物も市価の3～5割引きとあって飛ぶように売れ、人気は上々。午後2時までにザット2万人を数える盛況ぶりでした。

このほか、会場には冷凍食品等の試食コーナーや、図解入りの統計数字などによるパネルコーナーも特設され、会場は若いカップルからおとしよりの夫婦や子どもづれでゴッタ返していました。

【写真・品評会で入賞した農作物をみんなで模擬セリ市する消費者達】

秋の叙勲

功績・栄光をたたえる

斉藤、常盤、神宮寺、赤池の4氏が受賞

昭和53年度秋の生存者叙勲が「文化の日」の11月3日付で公表されました。市内では、元県知事の斉藤寿夫さんが「地方自治功労」、農協組合長の常盤鉄三さんが「農業振

興功労」、元国鉄職員の神宮寺一好さんが「鉄道業務功労」、元県土木事務所長の赤池角雄さんが「建設行政事務功労」の栄誉に輝き受賞しました。

勲二等旭日重光章

地方自治功労

【功績内容】



斉藤寿夫さん
(70歳
水戸島本町)

元県知事、元衆議院議員、元参議院議員

昭和26年5月県総務部長を退職後、地元富士地区を基盤に県知事選挙に出馬して当選、以来連続4期16年有余にわたって県知事として県勢の発展と県民福祉向上に尽力されました。

その後、昭和42年1月、衆議院議員、同47年12月には参議院議員補欠選挙に出馬して当選するなど、実に23年の長きにわたり政治家として地方自治伸展につくされました。

勲五等瑞宝章

農業振興功労

【功績内容】



常盤鉄三さん
(71歳・橋下)

岩松農協組合長、県農協中央会理事、市内松岡1183番地

昭和29年から現在まで24年間の長きにわたり岩松農協組合長をつとめ、この間、野菜の振興茶の構造改善など農業基盤整備事業にもつくされました。また農業委員会委員をはじめ各種団体の役員を歴任されたほか、昭和33年から46年まで市議会議員3期、在任12年有余を通じて地域農業の発展と市勢伸展に貢献されました。

勲五等瑞宝章

鉄道業務功労

【功績内容】



神宮寺一好さん
(71歳・浮島町3)

元国鉄職員、船津486-3番地

大正11年国鉄に入社して以来昭和40年3月退職するまで、43年有余の長きにわたり「鉄道一筋」に生きてきました。この間昭和18年9月、沼津機関区助役昭和35年2月に沼津機関区長などの要職を歴任され、また業務改善工夫の功績により、昭和28年10月に国鉄総裁から「功績章」同38年には最高の栄誉である「統事」の称号がおくられるなど、国鉄業務の発展に貢献されました。

勲五等瑞宝章

建設行政事務功労

【功績内容】



赤池角雄さん
(70歳・柚木)

元三島土木事務所長、柚木414-2

昭和6年県職員を拝命以来、昭和38年3月勇退するまで、33年有余の長い間、「この道一筋」土木行政業務に尽力され、この間、昭和8年沼津土木事務所を皮切りに富士宮、富士、御殿場富士川など各地を歴任、さらに同32年4月、天龍、下田、三島の各土木事務所長の要職をつとめるなど、土木建設業務伸展のためにつくされました。

暴走族にきびしい罰則

12月1日から大きく道路交通法が変わります

道路交通法が12月1日から大幅に改正されます。

今回の改正は、とくに「酒酔い運転の免許証取消し」をはじめ「暴走族」の悪質で危険性の高いドライバーの撲滅、「自転車の安全

対策」や「自動二輪、原動機つき自転車の走行方法」「ヘルメットの着用」などが主な内容です。

ここでは、市民のみなさんに直接かわりの深いことごとらについてお知らせします。

ジグザグ運転などには 懲役6ヵ月以下

暴走族に対する取り締りが一段と強くなりました。従来は自動二輪車などが道路を横いっぱい広がって走っていてもセンターラインを越えない限り取り締りすることができなかったが、こんどの改正で2台以上の自動二輪車や車を横につらねて運転したり、道路をいっぱい広がっていわゆる「ジグザグ運転」、また走っている車を包み込んでいやがらせる暴走行為など共同して交通を妨害したり、他人に迷惑をかけた場合は、全部の車を取り締りの対象になります。罰則もきびしく、懲役6ヵ月以下、罰金5万円以下。違反点数も9点で無免許運転よりも重い行政処分を受けることになりました。

交差点への進入が 一部禁止されます

交通のはげしい交差点などでは、自転車で横断するのは、とても危険です。とくに大型トラックなどに巻き込まれる事故が年々ふえています。このような事故を防ぐため、交通量が多く自転車の横断が危険な交差点には新たに「自転車の進入禁止」の道路標識がつけられます。

「自転車進入禁止」の標識のある交差点では自転車をいったん歩道にあげ「自転車横断帯」を利用して、交差点をわたらなければいけません。

警察官や交通指導員の指示に従わないで交差点に入ると処罰されますのでくれぐれも注意してください。



自転車専用の 「横断帯」が新設

自転車で横断中の交通事故をなくすため新しく自転車専用の「横断帯」が設けられます。幅1.5mの横断帯には自転車の図柄入りの標識や標示がつけます。横断歩道に併設される場所では歩行者用の信号と共通になります。

車は横断帯の手前ではスピードを落とし、自転車の横断中は必ず一時停止しなければなりません。また、横断帯の手前30m以内での追い越し追い抜きは禁止になります。

自転車のブレーキの 整備不良は処罰されます

自転車には、これまで車検のようなものはありませんでしたが、この改正で安全運転に必要な最低線が決められました。これは「ブレーキ」です。時速10kmで走り3m以内で停止できるブレーキが基準とされ、ブレーキの不良の自転車に乗っていると3万円以下の罰金です。

また、夜間は尾灯か反射器材をつ

けなければ乗れません。しかも100m後方から確認できるものでないと失格です。

酒酔い運転には 免許証を取消し

「酒酔い運転」と「麻薬、覚せい剤などを飲んでの運転」は、とくにきびしく、1回の違反で免許証は取り消されます。酒酔い運転は、従来12点だったが、この改正でもっともきつい最高点の15点に引き上げられました。

自分の生命を守るために ヘルメットを着用

自動二輪車に乗るときは、運転する人も同乗する人も「必ずヘルメットを着用」しないと運転することができなくなりました。いままでは最高速度40km未満の道路ならヘルメットは不用でしたが、この改正でヘルメットなしで運転すると違反点1点がとられます。

ここでいう「ヘルメット」はJISや消費生活用製品安全法に定められた基準のものであることが必要です。

工事用のヘルメットは通用しませんので規格のヘルメットを着用してください。



新総合計画の論文. 作文入選きまる

＝明日の富士市を築くための計画＝

教育長賞

僕が、明日の富士市に望む事は、まず「自然がいっぱい」という事です。

今まで富士市は、南に広がる駿河湾、そして北には、日本の象徴ともいえる霊峰富士を踏まえるという、非常に恵まれた自然環境を維持してきました。けれども、ここ数年のうちで、環境保全の不備からか、はたまた、無計画な乱開発の結果からか、富士の裾野は無残に、森林が切り開かれ、ゴルフ場になったり、宅地分譲地になったりしてしまいました。また田子の浦港においては、過去に大量のヘドロが発生し「公害都市富士市」「ヘドロの田子の浦港」という、郷土に住む僕たちには、情けないようなイメージを、世間の人々に植えつけてしまったようです。そして、また、工業の進出の前に農業、漁業の関係者の数は、目に見えて減っていますし、僕の家裏にあった田にも、建売住宅が立ちならびました。

市内でも各地に新しい建物がどんどん建ち、田や畑は、日に日に姿を消していくようです。これでいいのでしょうか。自然との共存が、人間の手で謀られなければ、どうして人間だけが発展を望めるのでしょうか。自然との調和を考えて新しい開発をせねば人間は自らの手で、自分の首をしめ、自滅への道を歩むのではないのでしょうか。僕ら富士市民には、日本の象徴富士山と、その周囲の自然を守り、次の新しい世代に、しっかり手渡す義務があると思います。そのためには、市民一人一人の心の中に、「私たちの富士の自然を守っていこう」という



「明日の富士市に望む事」

富士市立田子浦中学校三年 酒井勇二

意識を植えつけねばならないと思います。

ゴミ、空缶などで自然を損なわぬよう、多くのゴミ箱を作り各地に設置したり、街路樹なども多く植え、そして河川敷で成功した緑地公園も、もっと各地に作ったりして、人々を緑になごませる事が必要だと思います。それには富士山麓へのゴルフ場、レジャーランド、宅地分譲地の進出など、乱開発に規制を加え、自然を守っていかねばなりません。そして、そのような対策を施した上で、環境保全地区などを設け、自然を保持していけばよいと思います。

よく、現代の子は自然に接する機会がないと言われます。虫でさえ、デパートで買うのです。僕は富士市の新しい世代の子供たちには、街路樹の豊富な舗道や、ゴミや空缶のない山道を歩かせてやりたいと思うのです。僕が、もう一つ新しい富士市に望む事は、「老人や障害児が暮らしよい社会」にするという事です。

静岡県は交通事故件数が、例年多い事で有名だし、中でも、子供、老人の事故は多く報道されています。この対策に、目の不自由な人たちのために、音で合図する信号を設置するとか、健康な人が、老人の手を引き、道路を渡す運動などを起こしたら良いと思います。また、一人暮らしの寂しい老人と、電話で話しをしてあげるにとどまらず、話相手が家を訪問してあげたらどうでしょう。また耳の不自由な老人のため、音量調整できる電話や、一人暮らしの老人のため、ボタンひとつで病院、知り合いに直通する電話があると聞いているので、それを支給すれば、喜ばれるのではないのでしょうか。その他、病気の早期発見のため、定期的無料検診の回数を増やすとか、市に無料老人ホームがあるそうですが、かなり古いようですから、近代的な物を作り、身寄りのない老人が安心して利用できるようにしてあげられないのでしょうか。

また、とかく孤独になりやすい老人のた





め、お年寄り同志のサークルを広い地域で、もっと盛んにして、張りのある、楽しい生活を送れるよう心を配ってあげれば良いのではないかと思います。

それから、障害を持つ人々は、きっと世の中で人々に奇異の目で見られ、そして同情されているのではないのでしょうか。思うに同情するという事で、かえって相手を傷つける事が、ままあるのではないのでしょうか。僕自身怪我をした時など、何もできない自分を齒がゆく、そしてかなり情けなく思ったものです。

同情をしても、その人の立場にはなれないのですから、その人たちのために、でき得る限りの事をしてやればよいと思います。

たとえば、図書館にある目の悪い人のための、名作のカセットも、名作だけでなく、もっとバリエーションを増やす事や、電動の車椅子を支給したりする事や、身体障害者専用の運動施設を作ったりする事も、もっと積極的にすれば良いと思います。点字広報の他に、点字の図書館も開く計画のようですがとても良い事だと思います。

そして障害を持つ人々も普通の人と同じように、明るく暮らせるような市になってほしいと思います。僕が、最後に富士市に望む事は、教育、文化が更

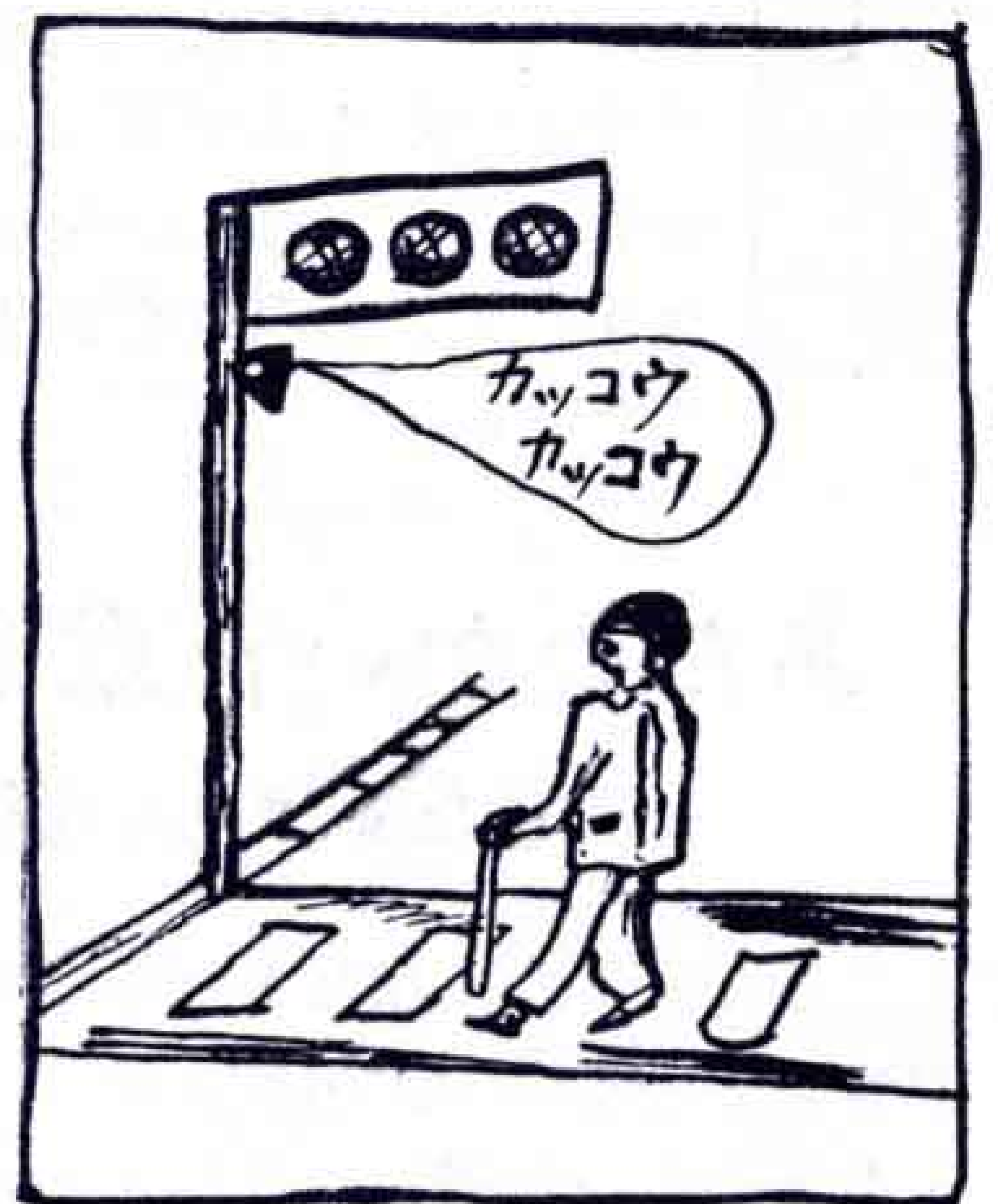
に発展する事です。そのために、図書館の数をもっと増やして欲しいし、移動図書館も、もっと保有台数を増やして欲しいと思います。

また、現在富士市の歴史や民話、伝説などの本が出まわっていますが、このたぐいの本も、各校の図書館で利用し、生徒たちの、郷土についての興味を深めさせてあげたら

どうでしょうか。計画では、芸術文化のため、郷土資料館というものを作るそうですが、そういう事も含めて、郷土の歴史の再確認をするのはとてもすばらしい

事だと思います。僕の理想とする富士市像は、緑がいっぱいで、それでいて文化的で、全ての人々が皆明るく生活していく都市なのです。

自然と調和しながら発展していく町、活気に満ちた町、そういう富士市になってほしいと僕は思います。



縄文時代中期のお墓を発見

第7次天間沢遺跡の発掘調査

市教育委員会は、市立天間幼稚園の運動場拡張場所1,053平方メートルが、「天間沢遺跡」になっているため、10月3日から11月30日までの予定で発掘調査をしました。

天間沢遺跡の発掘調査は、昭和35年の第1次調査を皮切りに第6次まで実施され、今回が第7次調査です。第6次までの調査では、古墳時代の住居址5ヵ所と縄文時代中期の住居址16ヵ所、扇形配石遺構や多数の土器と石斧などが発見されています。今回の調査では、今からおよそ4,000年から5,000年くらい前の縄文中期の住居址が3ヵ所、配石遺構（お墓）が7ヵ所と、埋瓶（縄文式土器）2個が完全な形で発見されました。

この天間沢遺跡発掘調査にたずさわってきた、県教育委員会の植松章八調査員は、「今回の調査場所は、

配石遺構がたくさん発見され、当時の墓地であったことが確認されます。またこの遺跡は、縄文時代中期の生活様式を知るうえで貴重な遺跡です」と話しておられました。



【写真・完全な形で出土された埋瓶】

お知らせコーナー

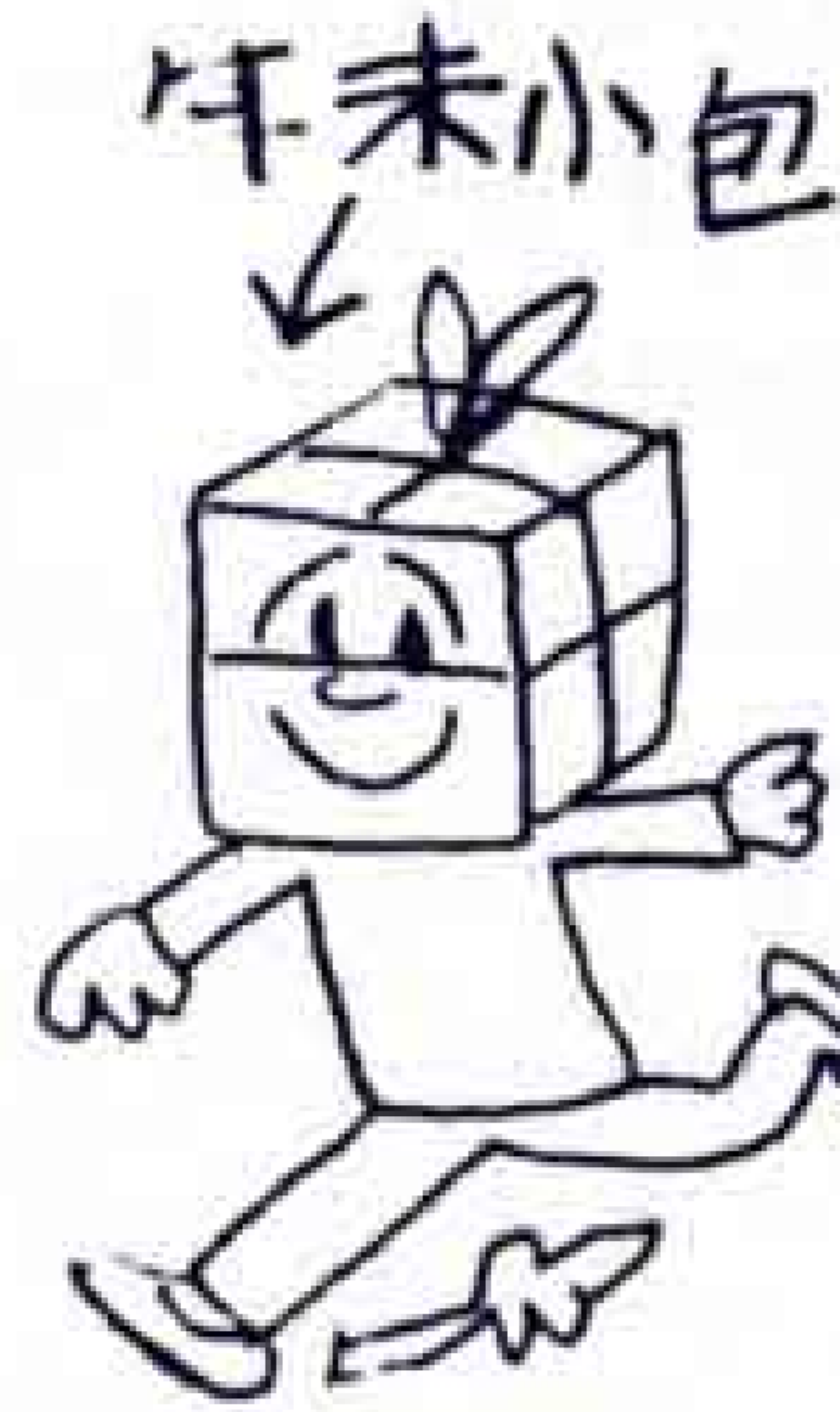
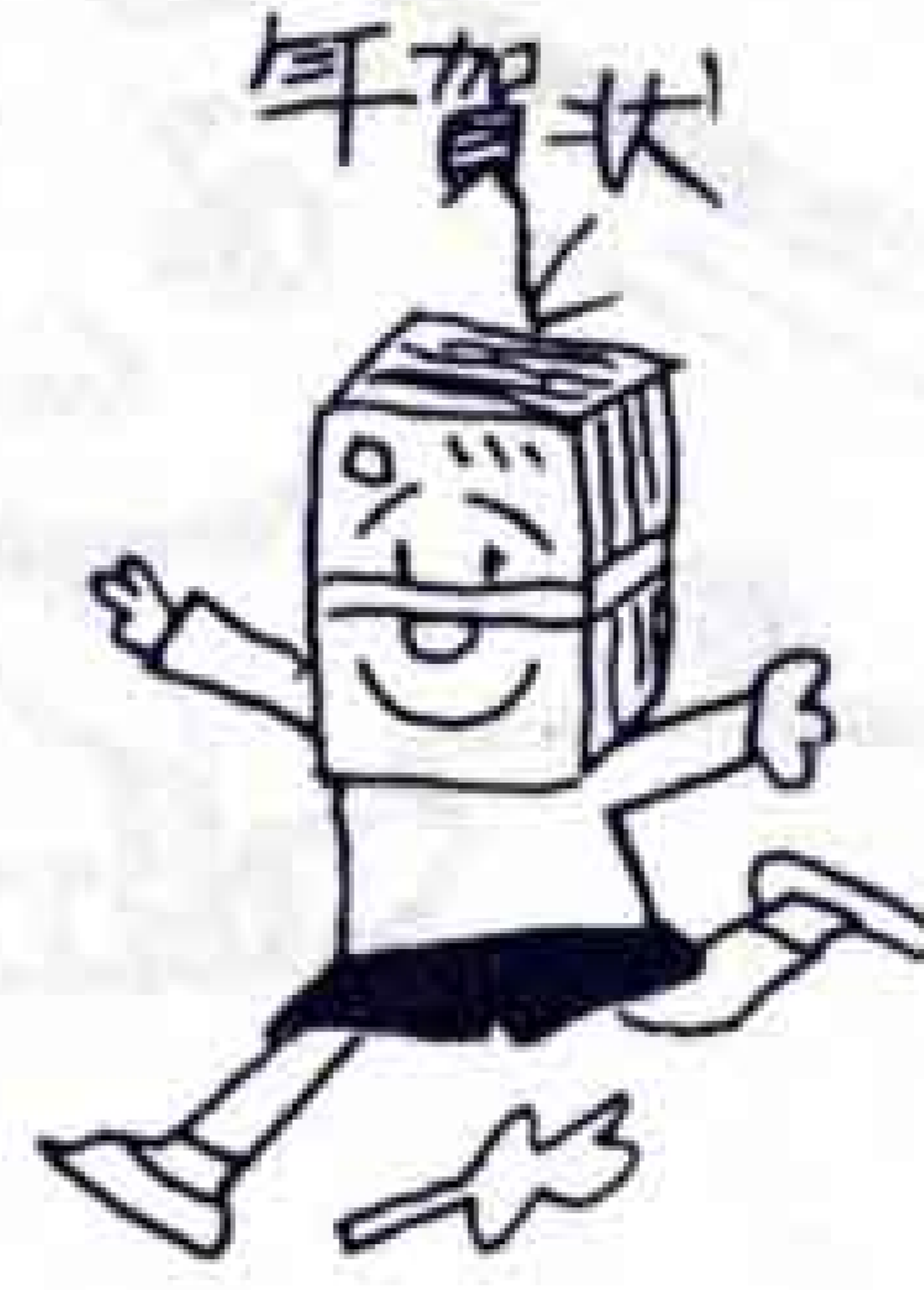
年末の郵便物は早目に

小包は12月15日
年賀状は12月20日まで

例年12月に入りますと、郵便局窓口は贈答用小包や年賀ハガキなどでたいへん混雑します。

市民のみなさん、小包郵便物は12月15日までに、年賀ハガキは12月20日までには出してください。あまりおそく出しますと小包は年内に、年賀ハガキは元旦に間にあわないことがありますので、しっかり計画をたてて早目に郵便局窓口に出してください。

また、あて名は正確に丁目、番地まで、とくに団地アパートは、団地、アパート名、棟、室番号までかならず書いてください。このほか郵便番号を記入しない人がありますが、郵便番号は正しく、差出人も郵便番号を忘れずに書いてください。



1歳6ヵ月児健康診査 の日程を変更

1歳6ヵ月児健康診査を12月21日勤労者会館（暮らしのたより11月15日号）と、お知らせしましたが12月18日13:30~15:30、勤労者会館に変更します。

ニセ税務署職員などに ご注意

最近、税務署名を利用して、講習会への参加料を請求したり、税務職員を装って、パンフレットを売りつける事件が起っていますので、十分注意してください。

もし、不審な点がありましたら富士税務署へご連絡ください。(☎61-2460)

お知らせコーナー

あたたかい善意をお寄せください

歳末たすけあい運動 12月1日~31日まで

ことしもまた、12月1日から12月31日までの1ヵ月間、市民あげて「歳末たすけあい運動」がはじまります。この運動は、市社会福祉協議会と市共同募金委員会が主体になって、国

民たすけあい共同募金運動の一環として行われるものです。

市民のみなさんから寄せられた善意は、生活に困っている人たちにお届けします。

また、今年も富士市連合婦人会が「歳末たすけあい袋」を各世帯に配布しますので、ご理解をいただき、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。



12月の市税納期

- 固定資産税、都市計画税 (4期)
 - 国民健康保険税 (5期)
- ※納期日までに忘れずに納めましょう。

投票に活かす
きれいな眼と心

12月の市長相談は 中止します

12月12日(火)の定例市長相談は都合により中止させていただきますのでご了承下さい。

(広報広聴課)



防災標識設置について

〔こえ〕 大地震が、発生した場合大津波の発生も必至だと思われれます。そこで、市民の集り易い場所、目にふれやすい所に海拔を示す標識を建て市民の日常のしるべとしていただきたくお願いします

(富士岡・Mさん)

〔こたえ〕 海拔標示につきましては、津波対策を進める上で重要な事柄でありますので、本年10月建設省建設大学の協力を得て、海岸地域及び、周辺低地部の海拔測量を行い、目下、建設大学において資料の集約をいたしております。

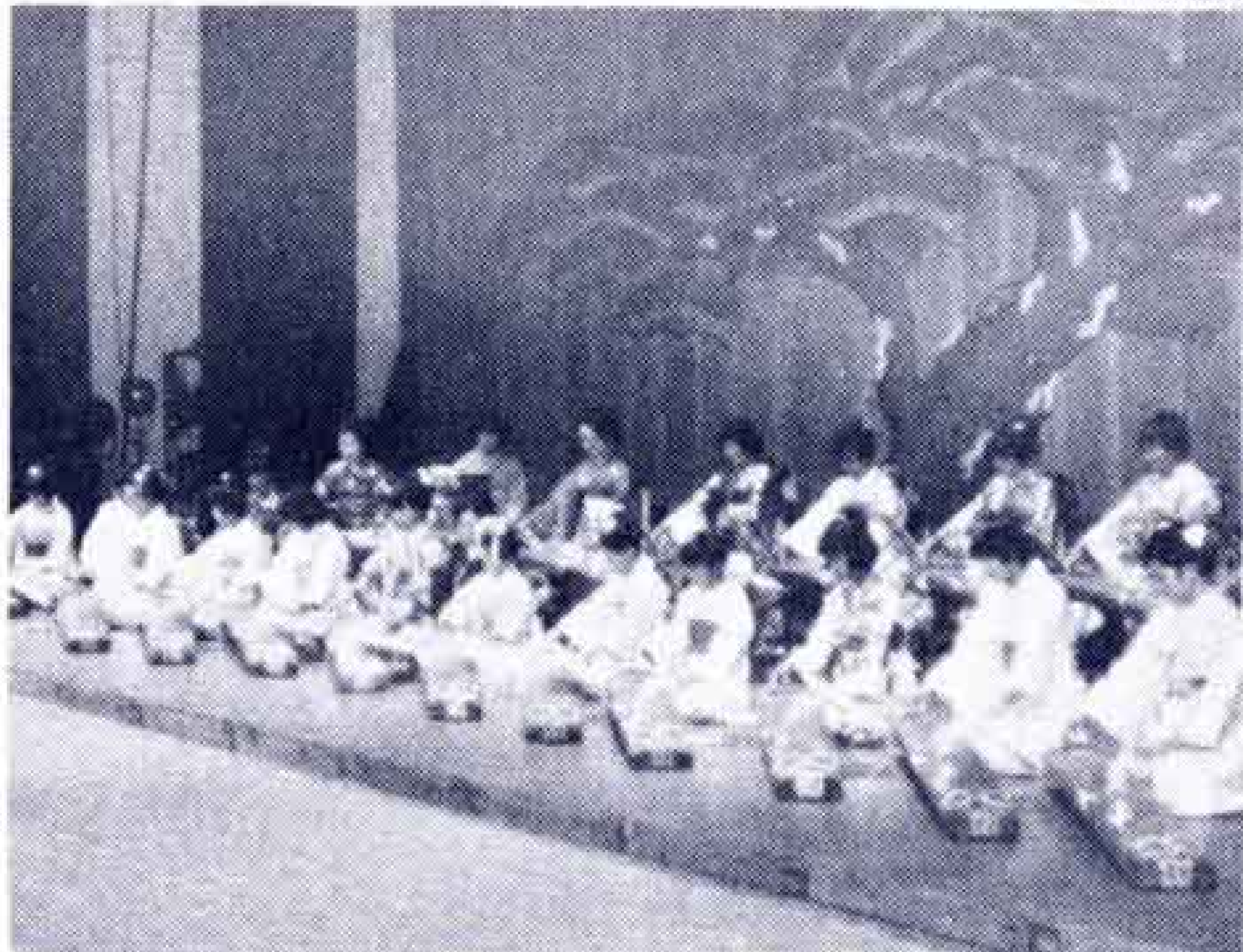
市では、測量成果にもとづいて来年度予算で、公会堂、公園等住民の集まりの多い場所へ「海拔標示」を設置する予定ですのでしばらくのご猶予をいただきたいと思ひます。

(市総務課)



民踊会の皆さんによる 富士ばやし →
(市民会館ホール)

▼ 琴の音色も……邦楽
(市民会館ホール)



好評だった市総合文化祭

▼ 静かな美……いけばな展 (市民会館)



「芸術の秋」をいろどる第12回市総合文化祭は、11月10、11、12日の3日間、吉原市民会館および富士文化センター、鷹岡公民館で盛大に開かれました。

各会場には、日頃から丹精こめたすばらしい日本画をはじめ洋画、書写真やいけばな、盆栽などが展示され、とくに市民会館、文化センターホールで行われた「ウツトリ」のような琴のしらべの邦楽や、少年少女合唱団のコーラス、民踊などに人気が集まり、終日、会場は親子づれで賑わい、3日間ともなかなかの好評でした。



▲ たん精こめて作りあげた陶芸展
(富士文化センター)



◀ どれも力作ぞろいの書道展
(富士文化センター)



このコーナーでは「トピックス」と題して、地域の明るい話題、できごとなどを掲載しています。みなさんのまわりで楽しい催し物や行事、話題がありましたら、どしどし市広報広聴課（電話51-0123内線528）までご連絡ください。



福祉施設へ勤労奉仕 東芝富士工場のみなさん

東芝富士工場第2製造部につとめる400人の仲間が、去る10月22日の日曜日、朝早くから老人ホームをはじめ、市内8ヶ所の福祉施設を訪れ、勤労奉仕を行い、関係者から大変よろこばれました。



新市第12回市長表彰

11月1日農協会館ホールで

昭和53年度の富士市長表彰式が市制施行記念日の11月1日、市内青島町の富士市農協会館ホールで関係者多数をむかえて盛大に開かれまし

た。
この日の受賞者は、夫人同伴で「教育文化功労」の波多野潔さん（78歳）
「産業功労」の石井四郎さん（75歳）、「産業功労」の林玄嗣さん（70歳）
「社会福祉功労」の池野光平さん（86歳）、「水火災防護功労」の諸星利一さん（65歳）の5名の方に渡辺市長から表彰状と記念品が贈られました

【写真・表彰を受ける波多野潔さん】

優勝校は富士中と吉原二中

53年度の中学校総合体育大会終る

昭和53年度の富士市中学校総合体育大会市長杯の授与式が11月10日市長室で行われました。この総合体育大会は去る7月から11月にかけて市



【写真・優勝カップと賞状を手にする左から西尾田中、外山、山下、井出の両校代表選手】

内各所で12種目にわたって熱戦をくりひろげた結果、男子の部では富士中が剣道、陸上、柔道の三部門にみごと優勝、また女子の部では吉原二中がバスケット、水泳の部に優勝、晴れの市長杯を獲得しました。

みごとな菊の大輪

東田子の浦駅美化菊花展に209鉢

第22回東田子の浦駅美化菊花展が、10月26日の審査で63点が入選しました。

日から11月25日まで、東田子の浦駅で開かれ車窓にそえる秋の旅情として、利用者の目を楽しませてくれました

この菊花展は、岳南農事研究会が毎年開いており、今年も209鉢が出品され、11月2日

入選者名は次のとおりです。

- ・富士市長賞 阿部賢之助
- ・静岡鉄道管理局長賞 加藤幸雄
- ・富士市議会議長賞 落合政治
- ・富士市教育長賞 久保田利郎
- 以下 59賞

正確さ、機敏さを競う

= 消防操法訓練大会 =

雲ひとつない秋晴れの11月15日、消防操法訓練大会が、市役所駐車場で、市内24分団600人余りが参加して開かれました。

日頃消火活動にきびきびした動作で、活躍している姿そのままに、小型ポンプ操法では、20分のホースをかつぎ放

水地点まで全力疾走する選手号令をかける指揮者など、正確さ、機敏さを競いました。競技成績は、訓練礼式、第4方面隊（第13、14、15、19、20分団）、小型ポンプ操法、第15分団、ポンプ車操法、第14分団が、それぞれ優勝しました。



悪書追放運動に協力を

市内24カ所に白ポスト設置

青少年の非行化への、ひきかねになりかねない有害雑誌を、家庭に持ちこまない運動として、白ポストが

富士駅北口、平垣公園など市内の24カ所に設置されています。

この白ポストに入れられた有害雑誌は、各地区の補導員が、定期的に回収します。特に富士駅北地区は、今年県から環境重点地区に指定されたのをきっかけに「少年によい環境を作る会」を結成し、地区民の意識高揚運動をすすめています。

市民のみなさんも、この運動に参加しましょう。

【写真・有害雑誌を白ポストへ】



【写真・日ごろの成果を発表（広見文化祭）即売会やチャリティーバザーに人気

= 各地区で文化祭 =

地区文化祭が、11月4日、5日、広見、田子浦、元吉原、今泉、原田の5カ所の公民館で開かれました。これは、各地区の社会教育推進会の主催で、民謡、詩吟、絵画、毛筆、盆栽などの学習グループが、日ごろの成果を発表しました。

特に、地区文化祭の楽しい催しである、おそば、おしるこの即売や、チャリティーバザーが地域の人たちによろこばれました。



防火ポスター入選きまる

市消防本部ならびに市防火協会では、昭和53年度のポスターを募集していましたがこのほど審査した結果、次のとおり入選作がきまりました。

ことしの応募点数は、小学校が208点、中学校51点、高校9点の全部で268点の作品が集まりました。

◎小学校の部

- ・市長賞 渡辺秀司（原田小6年）
- ・議長賞 長島太郎（今泉小6年）
- ・教育長賞 深沢明美（広見小6年）
- ・消防長賞 望月昭彦（鷹岡小6年）

◎中学校の部

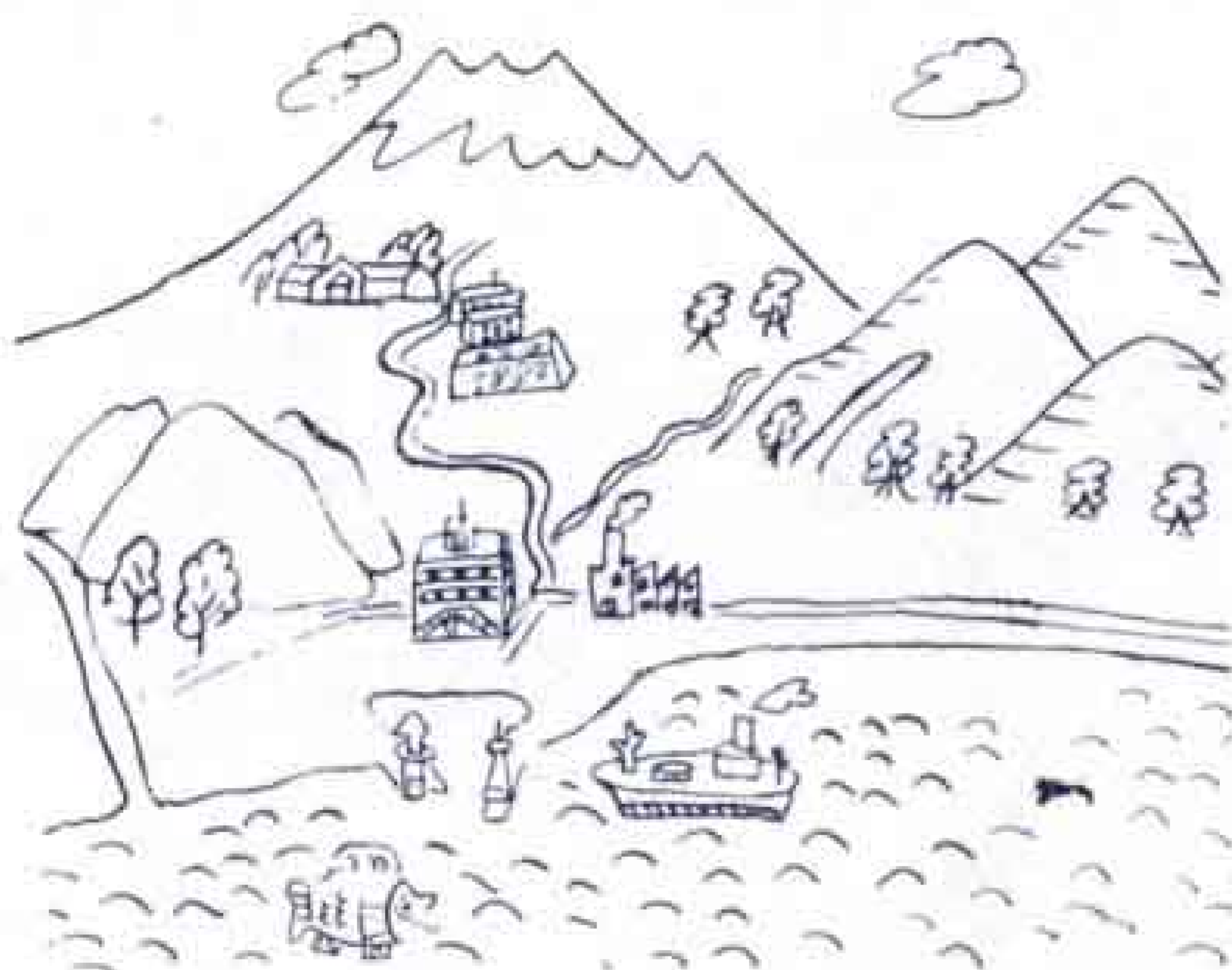
- ・市長賞 石川好夫（鷹岡中2年）
- ・議長賞 後藤智枝（吉原一中2年）
- ・教育長賞 杉山真澄（岳陽中1年）
- ・消防長賞 井出靖枝（吉原一中2年）



気 象 (No.1)

富士市は、三方を山々に囲まれ一方が海、という地形をしていますので、天気や気温をはじめ、気象に他の地域と異なる現象が見られます。

「夏すずしく冬あたたかい、海洋性の気候であることがあげられます。また、この地域の年平均気温は15℃くらいで、最も暑い8月でも平均26℃、寒い2月でも6℃と、住みやすい土地といえます。しかし、勢子辻のような標高の高い所では最低気温が氷点下5℃以下になることが何日もあり、同じ富士市内でも大きな差があります。」



■ 気 候

富士市の地域では、平野部の気温は、年間を通じて県内でも高いほうです。しかし富士市は、標高3,000m以上の高い所から、海拔0m地帯までなだらかに続く、日本でもめずらしい地形をしていますので、気温もその影響でたいへんに差があります。気温は普通、標高が100m高くなるごとに、0.6℃ぐらいさがるといわれています。

臨海地域では、昼は海から陸へ向かって海風が吹き夜は陸から海へ向かって陸風が吹きます。海風、陸風の変わる時を朝なぎ、夕なぎと呼び、特に夏の夕なぎのときはむし暑く感じられます。しかし、西風の吹く季節風の強い時期には海陸風はみられません。

この地域の気候をがい観して見ますと……。

春から夏へ

春になり、夏になるにつれ、曇りや雨の日がふえ、6月の梅雨期では、ひと月の半分ぐらいが曇りで、降雨の日数もひと月の半分ぐらいとなります。

このころ、駿河湾からしめり気を含んだ南風が多く吹くようになります。この影響で間門、今宮、穴原あたりから北の方では、霧がよく発生します。少年自然の家や勢子辻のように、標高が600mから700m付近で

は、霧のため視界が数mになることもしばしばあります。

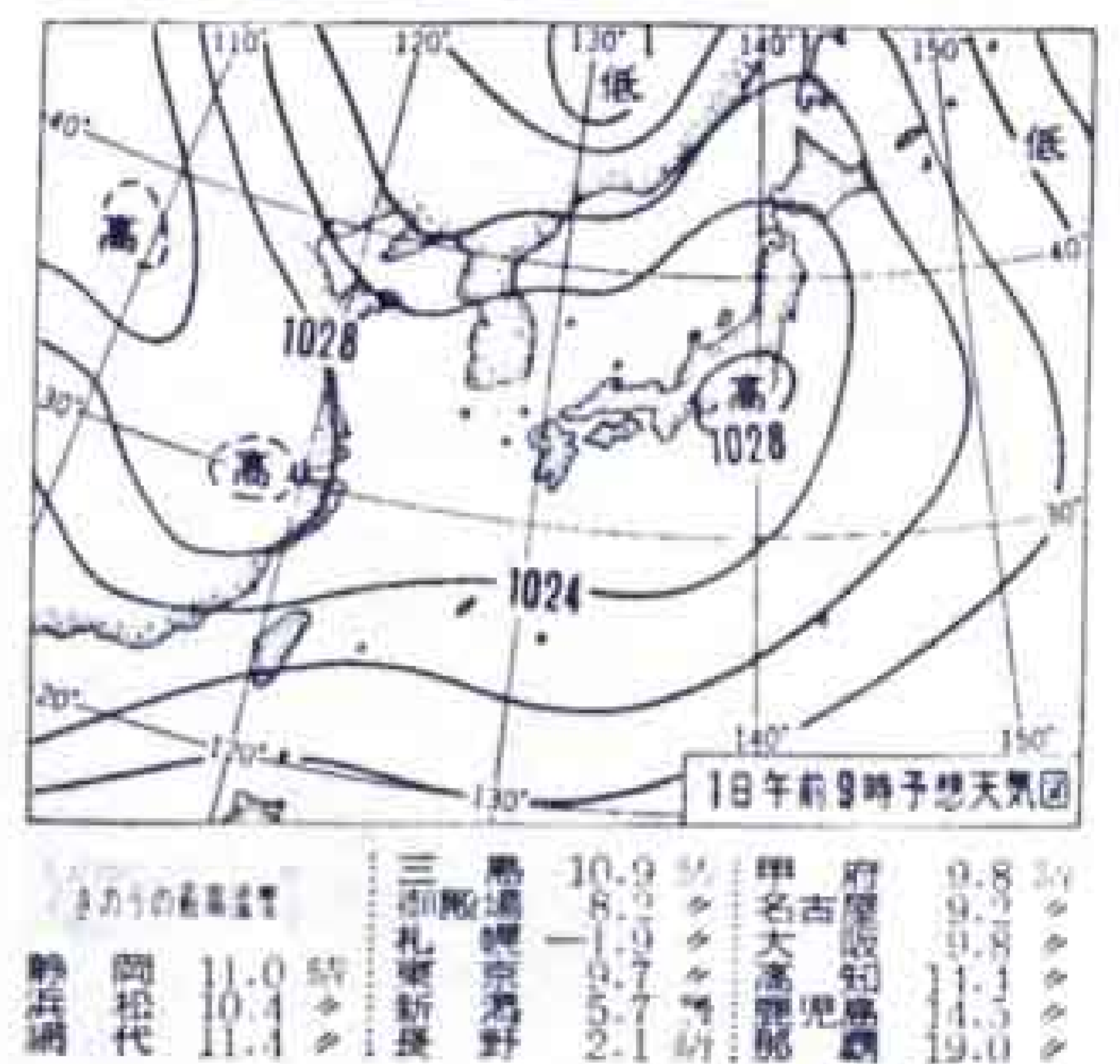
夏から秋へ

8月から晴れの日がふえ、入道雲がよく発生し、ときには雷雨注意報が出されます。夏から秋といえば台風シーズンですが、昭和49年7月7日の七夕豪雨のような大雨が一部の地域で集中して降ることもある反面晴れ間も多くなり、なかなか姿を見せなかった富士山も、雲間に見えるようになります。

秋から冬へ

台風シーズンと秋の長雨もあがり、10月に入るとよく晴れた日が続きます。下旬になると北西の方向からかわいた冷たい風が吹き始め、気温は急にさがり山間部では霜が降ったりします。須津川溪谷や丸火自然公園の紅葉もいっそうあざやかさをまし、富士山もそろそろ雪のベールにつつまれるようになります。

予想天気図



冬から春へ

12月から1月にかけては、冷たい西風や「富士おろし」と呼ばれる風が北の方から吹き、カラカラの天気が続きます。2月にはいと曇りの日も多くなり、ときどき雨も降るようになります。このころ南から強い風が吹くこともあり、丘陵地などの畑の多い地域では土ぼこりがまきあげられ、川の色が茶色に変わることもさえあります。そしてこの南風が吹きあれたあと、一雨ごとに春が訪れてきます。

不快指数とは？

不快指数という言葉が日本で最初に使われたのは昭和34年です。ある新聞に、次のような記事がのりました「ニューヨーク気象台では、天気予報に不快指数の一項目を加えて発表することになった。この不快指数とは温度と湿度の影響によって人体が感ずる不快感を数字であらわしたものの…」その後日本でも、ニュースなどで「本日の不快指数は…」などといわれるようになりました。

不快指数の計算

$$\text{不快指数} = 0.72 \times (A + B) + 40.6$$

〔計算例〕

$$0.72 \times (32 + 26) + 40.6 = 82.4$$

不快指数	不快を感じる人
70	一部の人
75	半分の人
80	大部分の人
85	重労働はできない

(次回は「雨」と「台風」を掲載します。)